

令和3年度 事業報告書（敬愛園）

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

I 総括

令和3年度は、前年度よりもはるかに新型コロナウイルスが猛威を振るい、第4波から第6波と大きな流行が発生し、施設を利用される方々の安全安心な生活・利用を守るため、様々な制限のある施設運営を強いられましたが、各施設における感染症対策により、サービスの提供を継続することができ、稼働率の維持・向上に繋げることができました。

アットホーム博多の森では、感染症対策の観点から利用者の移動を抑えつつ運営を進めました。退居者が多く、稼働の維持に難しさもあったものの、前年度稼働率からの落ち込みを抑えています。一方、デイサービスについては稼働率改善に向けて職員体制を見直し、より多くの利用者を受け入れる体制を整えました。施設全体（特養・ショート）の稼働率は、91.8%（前年比1.0%減）。デイサービスの稼働率は、48.2%（前年比4.4%増）となりました。介護サービスの稼働率改善を図るため、令和4年1月に居宅介護支援事業所を新規開設しました。

アットホーム諸岡では、付加価値のあるケア（科学的介護・誤嚥性肺炎プロジェクト・ノーリフトの実践）の推進に取り組みました。また、働きやすい環境づくりを目指し、職員が安心して業務遂行できる環境づくりを進めました。施設全体（特養・ショート）の稼働率は96.0%（前年比2.2%減）、デイサービスの稼働率は、84.9%（前年比8.1%増）となり、コロナ禍の影響を受けつつもデイサービスについては利用向上に繋げました。

アットホーム福岡では、さらなるサービスの質の向上を図るため、施設内の多職種協働に取り組みました。自立支援介護を支援するという目標の下、新たな介護の実践に向けて、職員の意識改革を行いました。施設全体（特養・ショート）の稼働率は、95.6%（前年比1.9%増）。サービス付き高齢者向け住宅の稼働率は、96.2%（前年比0.7%減）。ケアセンター県庁口の請求件数は、年間1,018件（前年比82件増）。けいあい保育園の稼働率は、83.8%（前年比38.6%増）となりました。

ケアスタ福岡では、職員全体で適切な施設運営に向けて稼働とサービスの向上に取り組みました。グループホームの稼働率は、87.2%（前年比6.2%減）。千代パピヨンデイサービスセンターの稼働率は、66.1%（前年比2.1%減）。小規模多機能型居宅介護の稼働率は、92.5%（前年比0.6%減）。サービス付き高齢者向け住宅の稼働率は、94.2%（前年比2.8%減）となりました。

福岡介護福祉専門学校では、学校の特徴である介護現場との連動型教育に取り組みました。実践教育再開に向け、連動型教育を実施することによって、優秀な介護人材の育成を推進することができました。学生募集により令和4年度の入学予定者は39名となりました（前年比8名増）。また、留学生の増加による奨学金ニーズに対応するため、新たに「奨学会」を発足しました。

令和4年4月新規開園の照葉けいあい保育園については、順調に園児及び職員確保をすることができました。園児定員130名に対し、117名が入園予定となっています。

令和3年6月18日開催の定時評議員会において、益田康弘理事長が選任され、同日就任しました。退任された前理事長及び評議員に対し、退任慰労金を支給しています。

法人全体の事業活動によるサービス活動収益は、21億3,924万円（前年比6,467万円増）。人件費は、13億3,488万円（前年比7,638万円増）。経費は、5億9,398万円（前年比3,261万円増）となりました。事業の収益性を表す経常増減差額は、5,052万円（前年比4,806万円減）。法人の収益性を分析する指標である経常増減差額比率は、2.3%（前年比2.4%減）となりました。

II 各事業所の運営状況

法人本部・在宅支援課

1. 経営基盤の確立及び施設整備

法人の適正な事業運営のため、各拠点の会計責任者（施設長）が出席する定例会を週一で開催しました。定例会では、施設運営・収支状況に関する情報を共有し、適正な予算執行に努めました。在宅支援課では、各サービス部門（グループホーム、小規模多機能型居宅介護、サービス付き高齢者向け住宅、居宅介護支援事業所）の強化を図りました。

アットホーム博多の森の改修工事として、エレベーターの部品交換、非常照明取換工事、居室エアコンの入替等を行いました。

2. 人材の確保・育成及び処遇改善

適正人員プロジェクトにより、適正な人員配置を原則とし、業務の効率性及び職員の意識改革を図りながら、派遣職員の活用を控える等、人件費の調整を行いました。

新卒職員を確保するため、ホームページの求人案内・ブログ等のコンテンツを充実させました。また、介護福祉士養成校との連携、職員寮の案内、奨学金制度や介護実習の受け入れから、13名（うち留学生2名）の新卒者を採用しました。

将来の生産年齢人口の減少を見据えた対応として、業務の切り出しを進め、障がい者雇用や地域の元気な高齢者の雇用による裾野の拡大を図りました。

3. 福利厚生の充実

職員互助会については、令和3年度も引き続き新型コロナウイルスの影響により、忘年会・ボウリング大会など人が集まるイベントは中止としましたが、イベントの予算を活用して、各施設での慰労会の実施、永年勤続表彰や会員への宅飲みセットの配付を年2回行いました。

職員の心理的な負担を把握するため、労働安全衛生法に基づいたストレスチェックを行いました。衛生委員会と協力して職員のメンタルヘルス（精神面における健康）に努めました。

4. 理事長交代及び慰労金の支給

令和3年6月18日開催の定時評議員会において、益田康弘理事長が選任され、同日就任しました。退任された前理事長及び評議員に対し、役員及び評議員の報酬等に関する規程に基づいた退任慰労金を支給しています。

アットホーム博多の森

1. 運営実績報告

前年度同様新型コロナウイルス感染症対策を講じながらの運営となりました。職員に陽性者が数名発生しましたが、対策と協働により大きな影響はありませんでした。稼働の面では、平均介護度と反し、慢性的な基礎疾患による入院、退居、また看取りによる退居者が多数いる中で特別養護老人ホーム・ショートステイの稼働維持に努めました。デイサービスについては、新型コロナウイルス感染症の影響により、利用を一時中止される方などがみられ、48.2%と稼働の低迷が続く結果となりました。介護サービスの稼働率改善を図るため、令和4年1月に居宅介護支援事業所ケアセンター博多の森を新規開設しました。

【稼動率】

サービス区分	定員	令和元年度	令和2年度	令和3年度
特別養護老人ホーム	99名	96.7%	97.6%	96.6%
ショートステイ	27名	71.9%	75.2%	74.0%
入居全体	126名	91.4%	92.8%	91.8%
デイサービス	18名	62.3%	43.8%	48.2%
居宅介護支援事業所（件数）		—	—	69件

【特別養護老人ホームの入居状況】

項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度
延べ入居者数	27名	24名	33名
延べ退居者数	26名	24名	35名
延べ入院日数	1,026日	738日	836日
平均介護度	3.61	3.51	3.43
割合	介護度1	3.6%	4.3%
	介護度2	6.2%	8.7%
	介護度3	34.9%	32.9%
	介護度4	35.8%	40.5%
	介護度5	19.5%	13.6%

2. 安全衛生管理状況

新型コロナウイルス感染症などの発生は防ぐことができました。その他の事故に関しても、ここ数年減少しており令和3年度も低水準で推移しています。年度後半に誤嚥や窒息事故、認知症の方のショートステイ利用中の転落事故が発生するなど予期せぬ大事故が発生、次年度に向け安全衛生管理の大幅な見直しを要す結果となりました。

【行政への事故報告件数】

内容	令和元年度	令和2年度	令和3年度
転倒・転落・接触	10件	3件	3件
誤嚥・誤嚥・異食	3件	2件	5件
打撲・皮膚剥離	0件	1件	0件
食中毒・感染症	0件	0件	0件
その他	3件	0件	1件
合計	16件	6件	9件

3. 職員研修

内部研修は年間計画通りに実施しています。外部研修に関しては、新型コロナウイルス感染症に伴いオンラインでの研修が主流となっています。業務の合間で沢山の職員が外部研修を受講できるメリットを生かして積極的に参加しました。

【主な内部研修】

	研修名	参加数		研修名	参加数
4月	看取り研修	13名	10月	胃ろう・喀痰吸引	11名
5月	身体拘束／権利擁護	11名	11月	褥瘡防止研修	18名
6月	食中毒防止研修	13名	12月	感染対応（訓練）	15名
7月	高齢者虐待防止研修	14名	1月	災害研修	12名
8月	リスクマネジメント	20名	2月	高齢者虐待	12名
9月	身体拘束／権利擁護／ 高齢者虐待	9名	3月	リスクマネジメント 高齢者虐待	13名 13名

4. 行事報告

新型コロナウイルス感染症により施設職員のみで行事を実施しました。

【主な行事】

	行事名
春	花見弁当提供
夏	中止
秋	敬老会（職員と入居者）
冬	職員によるクリスマスコンサート（職員と入居者）
通年	各フロア（おやつ作り等ミニレクリエーション）

5. 地域活動

前年度同様、新型コロナウイルス感染症により地域行事等全て中止となっています。また、施設主催の月隈まごころサロン・買い物支援も中止としています。

ただし、地域広報委員による施設周辺清掃活動は、感染対策をしっかり行った上で年3回実施しました。

アットホーム諸岡

1. 運営実績報告

本年度も安定的な運営を目指し、付加価値のあるケア（科学的介護・誤嚥性肺炎ゼロプロジェクト・ノーリフト）を推進し、介護の質の向上に努めました。また、稼働率の維持向上のため、離職率の低下・ノウハウ蓄積を目的とした「働きやすい職場環境づくり」にも取り組みました。施設内ではコロナ感染が発生しましたが、感染対策を徹底、感染拡大の抑え込みに成功し、稼働率への影響を最小限にとどめています。

【稼働率】

サービス区分	定員	令和元年度	令和2年度	令和3年度
特別養護老人ホーム	80名	96.7%	98.4%	97.0%
ショートステイ	10名	90.4%	96.4%	87.5%
入居全体	90名	96.0%	98.2%	96.0%
デイサービス	10名	83.3%	76.8%	84.9%

【特別養護老人ホームの入居状況】

項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度
延べ入居者数	18名	12名	17名
延べ退居者数	18名	13名	19名
延べ入院日数	837日	398日	502日
平均介護度	3.86	3.89	3.92
割合	介護度1	2.2%	2.3%
	介護度2	3.8%	5.2%
	介護度3	29.9%	27.4%
	介護度4	33.8%	32.0%
	介護度5	30.3%	33.1%

2. 安全衛生管理状況

安全対策委員会を月に1回実施し、事故事例の共有・検証・対策検討・実施・評価を行いました。安全対策委員が中心となり、リスクマネジメントの内部研修も年2回実施しています。

これらの取り組みを通して、施設内全体に事故予防の意識継続と対策検討力の向上を図っています。結果として、事故報告件数が前年度よりも減少し、一定の成果が出ていると捉えています。

【行政への事故報告件数】

内容	令和元年度	令和2年度	令和3年度
転倒・転落・接触	9件	6件	1件
誤嚥・誤嚥・異食	18件	21件	15件
打撲・皮膚剥離	0件	0件	0件
食中毒・感染症	1件	0件	1件
その他	2件	1件	2件
合計	30件	28件	19件

3. 職員研修

各委員会活動の中でも、内部研修の準備や発信に努めました。これらを通して、職員の様々な事項に対する理解力や伝達力の向上、また当事者意識をもった委員会活動への参加に繋げています。当日内部研修に参加できないスタッフに対しても、研修内容の共有・把握ができるよう、資料・データの回覧を実施しました。

外部研修に関しては、感染対策・対応・施設運営継続を最優先事項としながら、可能な限りオンライン形式で参加を行い、新たな知識習得・復習・共有に臨みました。

【主な内部研修】

	研修名	参加数		研修名	参加数
4月	身体拘束・権利擁護 個人情報保護・ケアプラン	69名	10月	看取り	66名
5月	①急変時対応 ②リーダー研修	69名 14名	11月	感染予防研修	56名
6月	排泄ケアについて (ユニ・チャーム社による実施)	12名	12月	①身体拘束・高齢者 虐待・権利擁護 ②リーダー研修	62名 14名
7月	食中毒・感染予防	77名	1月	ポジショニング・腰痛・褥瘡予防	68名
8月	リスクマネジメント	72名	2月	リスクマネジメント	64名
9月	身体拘束・高齢者虐待予防・権利擁護	55名	3月	誤嚥性肺炎ゼロプロジェクト	62名

4. 行事報告

外出・外食、飲食を伴う企画や、接触が増える企画、外部ボランティア・講師などを招いての企画が難しい中、イベント食の頻度を増やし、季節を感じられる食事提供を行いました。その他、オンラインを活用して音楽療法の実施、スタッフが講師となってフラワーアレンジメント教室の継続など、感染対策に留意しながら、利用者が楽しめる機会を継続できるように努めました。

【主な行事】※いずれも、感染対策に留意しながら3密を避けて実施。

	行事名
春	春の行事食(花見弁当)、こどもの日(イベント食) ドライブ、花見散歩
夏	七夕そうめん(夏祭りイベント食)、吉野家牛丼(コラボ食)、土用丑の日(うなぎひつまぶし風)、ココイチカレー(コラボ食) ユニット夏祭り、ビアガーデン(風)
秋	敬老会、誕生日会、ドライブ(花・景色見学)、おはぎ提供(彼岸)、運動会
冬	クリスマス会、忘年会、新年祝賀挨拶、鏡開き(せんざい提供)、誕生日会、鍋パーティー、ココイチカレー(コラボ食)、吉野家親子丼(コラボ食)、節分(ちらし寿司、お刺身提供) ドライブ(花見、パン屋)
通年	フラワーアレンジメント(4月より、毎月2回再開) 音楽療法(4月より、リモートにて月2回再開)

5. 地域活動

地域貢献活動に関しては、新型コロナウイルス感染症予防に伴い、ほとんど活動休止となりましたが、地域清掃活動は感染リスクが少ないため、コロナ禍の中でも継続しました。

- ・地域清掃 週1回 毎週火曜日10時30分から実施。
- ・令和2年度より一時中止中 … 傾聴ボランティアうぐいす(1回/月)、地域ボランティア来設(1回/月)、地域買い物支援(1回/月)、外部講師派遣(随時)、健康講話(1~2回/年)

アットホーム福岡

1. 運営実績報告

サービスの質向上を目標に自立支援介護を導入し、水分・栄養・運動・排泄の4つの観点から施設全体で他職種協働により取り組みました。今年度は導入期とし、自立支援介護座学研修を実施し、4つのケアがなぜ重要なのかを理解することから始めました。その後各ユニット対象者1名を選出し、その方またはご家族の願いごと達成を目標に掲げたケアプランの中で取り組みました。1年間継続して取り組むことで職員の意識改革と科学的根拠に基づく介護の浸透は図ってきたと考えます。この取り組みは必然と介護報酬の新たな加算（LIFE）に繋がっているため、加算取得のための書類整備や役割分担の仕組み作りにも良い成果が得られました。

【稼動率】

サービス区分	定員	令和元年度	令和2年度	令和3年度
特別養護老人ホーム	100名	93.9%	95.1%	95.5%
ショートステイ	18名	84.3%	86.2%	96.1%
入居全体	118名	92.4%	93.7%	95.6%
サービス付き高齢者向け住宅	35名	98.1%	96.9%	96.2%
居宅介護支援事業所（件数）		866件	936件	1,018件

【特別養護老人ホームの入居状況】

項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度
延べ入居者数	28名	42名	30名
延べ退居者数	27名	40名	27名
延べ入院日数	1,444日	1,257日	806日
平均介護度	3.72	3.62	3.53
割合	介護度1	1.7%	4.8%
	介護度2	12.4%	10.1%
	介護度3	23.9%	28.2%
	介護度4	35.6%	32.4%
	介護度5	26.3%	24.6%

2. 安全衛生管理状況

職員の職場環境改善のため、休憩時間・場所・環境についての休息度アンケートを年3回実施し、回答率平均70.3%、休息度平均3.3（5点満点）の結果を得ました。コロナ禍のため密での休息ができない状況であり、十分な改善成果を得ることはできませんでしたが、この結果を基に質の高い安全衛生管理環境の改善に繋げていきます。

【行政への事故報告件数】

内容	令和元年度	令和2年度	令和3年度
転倒・転落・接触	10件	3件	4件
誤嚥・誤嚥・異食	3件	2件	1件
打撲・皮膚剥離	0件	1件	0件
食中毒・感染症	0件	0件	0件
その他	3件	0件	1件
合計	16件	6件	6件

3. 職員研修

サービスの質向上のため、人材育成を重要課題と捉え、研修形態を全体研修（運営基準等）、フォローアップ研修、介護力強化研修、新人研修の4つの分野に分類し、年間計画として実施しました。今年度は自立支援介護の取り組みでもある排せつと褥瘡ケアを介護力強化研修として計画していましたが、コロナ禍であったことや人員配置上の問題もあり、参加率が低く目的達成には至りませんでした。この現状を受けて、10月より全体研修の開催方法をEラーニングでのオンライン動画研修へ切り替え行うこととしました。

【主な内部研修】

	研修名	参加数		研修名	参加数
4月	ハラスメント研修	中止	10月	感染症・食中毒の予防及び蔓延防止に関する研修	66名
5月	食中毒予防	7名	11月	身体拘束の排除の為の取り組みに関する研修	65名
6月	身体拘束廃止・高齢者虐待防止①	10名	12月	褥瘡予防	65名
7月	リスクマネジメント①	10名	1月	高齢者虐待防止に関する研修	65名
8月	看取り	中止	2月	事故発生又は再発防止に関する研修	65名
9月	認知所及び認知症ケアに関する研修	65名	3月	緊急時の対応に関する研修	61名

※コロナ感染による研修中止時と不参加者には資料配布のみ行う

※9月よりオンライン動画研修へ切り替える

4. 行事報告

各行事の実行委員を中心にコロナ禍でも開催できる方法を検討しました。各フロア単位での行事開催を基本とし、環境整備もフロア単位で準備し開催に至りました。夏祭り、もちつきという行事も代替案として、秋のふれあい祭りやハッピー初詣という行事に切り替え、入居者様も季節の時事行事を楽しまれています。

【主な行事】

	行事名
夏	アイスクリームを食べて暑い夏を乗り切ろう
秋	ふれあい祭り 敬老祝賀会 昔懐かし焼き芋屋さん
冬	ハッピー初詣
通年	願い叶え企画・誕生会・その他（ユニット単位）

5. 地域貢献活動

令和3年度については、千代地区事業者ネットワーク連絡会の中で他事業所と協働のもと地域貢献活動を実施しました。2ヶ月に1回定例会を開催し、地域支援について協議しました。

実績としては、10/27 千代小学校認知症キッズサポーター養成講座を実施。令和4年度開催予定の千代校区社協主催の「まちの保健室」の協力として準備段階より参画しています。

また、11/16 SMBCコンシューマーファイナンス（株）様、11/19 御供所自治会様に対してそれぞれ認知症サポーター養成講座を実施しました。

けいあい保育園

1. 運営実績報告

令和3年度は、前々年度から前年度にかけて稼働率が低下した反省を踏まえ、稼働率の向上及び保育内容の充実を目標として業務に取り組みました。稼働改善に向けて法人内グループとの連携を深めるとともに、各施設にパンフレットの設置などの協力を仰ぎました。この成果もあり、稼働については改善がみられています。引き続き今後もけいあい保育園のアピールに取り組みます。また、保育については報連相や保育理念の徹底した共有を行い、保育の質向上に取り組みました。職員一人ひとりが笑顔で保育に取り組めるよう健康面にも配慮を続けていきます。

【稼働率】

サービス区分	定員	令和元年度	令和2年度	令和3年度
小規模保育園	19名	64.5%	45.2%	83.8%

2. 職員研修

保育の質を向上させるため、保育士の専門性を高めることを目的として研修を実施しました。日ごろから一人ひとりがより主体的に保育の質を高める意識を持てるよう、今後も啓発に取り組んでいきます。

【主な内部研修】

	研修名	参加数
6月	人権	1名
7月	健康安全・保健衛生	2名
8月	保育	1名
10月	安全管理・保育施設長・アレルギー	3名
11月	人権・要保育児童	2名
12月	乳幼児保育ステップアップ	1名
3月	福岡市メンタルヘルス	1名

3. 行事報告

コロナ禍の状況ではありましたが、お別れ会については家族に向けた発表会でもあったため、窓を全開できる季節を選び、年齢ごと少人数で日時を分け実施。保護者に子どもの成長を見て戴くことができました。

【主な行事】

	行事名
春	入園式・進級式 健康診断 鯉のぼりの会 母の日会
夏	歯科検診 プール開き 七夕会 園内夏祭り 食育会
秋	敬老の会 お別れ会（発表会） 秋の会 健康診断
冬	正月の会 豆まき ひな祭りの会 バレンタイン会 卒園式
通年	身体測定 避難訓練 誕生日会

ケアスタ福岡

1. 運営実績報告

コロナ禍であっても適正な施設運営のため、稼働率の向上、介護の質の向上、接遇強化、5Sの徹底を重要課題と位置づけ、これまでの課題解決も合わせて職員全体で取り組みました。

デイサービスでは、コロナ禍にて稼働の伸び悩みが続いていますが、毎月体験の受入新規獲得は出来ています。グループホームでは、看取りを実施するなど新たな試みは行っていますが、コロナ禍にて次の入居が上手く進まず稼働が伸びませんでした。小規模多機能型居宅介護では、登録者数を定員の27名を維持し、更なるサービスの向上に努めました。

【稼動率】

サービス区分	定員	令和元年度	令和2年度	令和3年度
デイサービス	45名	75.3%	68.2%	66.1%
グループホーム	18名	93.9%	93.4%	87.2%
小規模多機能型居宅介護	29名	54.0%	93.1%	92.5%
サービス付き高齢者向け住宅	11名	99.7%	97.0%	94.2%

2. 安全衛生管理状況

新型コロナウイルス感染症の予防を徹底するため、定時でのアルコール消毒及び換気等を行いました。またケアスタ福岡全体で、リスクマネジメント、感染・災害対策委員会を発足し、各事業所で連携を行いながら、衛生管理に努めました。

その他の事故の内容は、グループホームにおいて、コロナワクチンの誤接種と個人情報を自施設駐車場に落としたという案件が発生しました。再発防止に向け、カンファレンスを実施し、ケアスタ福岡全体で共有しています。

【行政への事故報告件数】

内容	令和元年度	令和2年度	令和3年度
転倒・転落・接触	8件	8件	11件
誤薬・誤嚥・異食	3件	42件	18件
打撲・皮膚剥離	0件	0件	4件
食中毒・感染症	0件	0件	0件
その他	2件	0件	2件
合計	13件	50件	35件

3. 職員研修

ケアスタ福岡においては、各事業所合同にて委員会を行い、各事業所内会議にて資料を閲覧し研修としました。また、インターネットによる外部研修への参加も行いました。

【主な内部研修】

	研修名		研修名
4月	ハラスメント防止啓発	10月	ハラスメント防止について
5月	権利擁護・身体拘束・高齢者虐待について	11月	身体拘束について
6月	災害対策について	12月	感染対策について
7月	運転事故発生時の対応	1月	災害（道路凍結）について
8月	スピーチロックについて	2月	権利擁護（外部）
9月	実施なし	3月	病院受診の際の感染対策

4. 行事報告

コロナ禍にあっても、施設でのイベントや外出など、感染対策を行いながら実施しました。

【主な行事】

	行事名
春	花見ドライブ
夏	外出企画（ショッピング）山笠見学・そうめん流し中止
秋	敬老会はサービスごと開催
冬	節分・ひなまつり開催、初詣
通年	小規模な誕生日会を実施

5. 地域貢献活動

令和3年度においてもコロナ禍にて、地域貢献活動及び地域行事は軒並み中止となりました。

福岡介護福祉専門学校

1. 運営実績報告

令和2年度に引き続き新型コロナウイルス感染症拡大の影響もありましたが、法人グループ施設や地域施設の支援を受けながら全課程を修了することができました。本校の特徴でもある「介護現場との連動型教育」に取り組むことができ、優秀な介護人材の育成に繋げています。

学生募集活動については、感染拡大の逆風の中にありつつも、39名の入学生を受け入れることができました。

【学生募集活動の状況】

項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度
オープンキャンパス参加者数	46名	117名	123名
入学試験	受験者	28名	71名
	合格者	28名	36名
	入学辞退等	2名	5名
次年度入学者	26名	31名	39名
うち留学生	10名	16名	27名

【令和3年度の学生数及び定員充足率等】

項目	全体	(内訳)	
		2年生	1年生
定員数	80名	40名	40名
4月現在の学生数	54名	22名	32名
うち留学生	25名	9名	16名
定員充足率	67.5%	55.0%	80.0%
学生数に対する留学生の割合	46.3%	40.9%	50.0%
学生の動向	退学	4名	1名
	休学	0名	0名
	留年	1名	0名
	進級	29名	—
	卒業	21名	21名

2. 奨学会の発足

留学生の増加による奨学金ニーズに対応するため、令和3年度より「奨学会奨学金」を発足しました。この奨学金制度により学生33名（うち1年20名、2年生13名）が認定されました。2年生の13名については、令和4年4月に奨学会会員施設に就職し、債権譲渡契約を締結する予定としています。

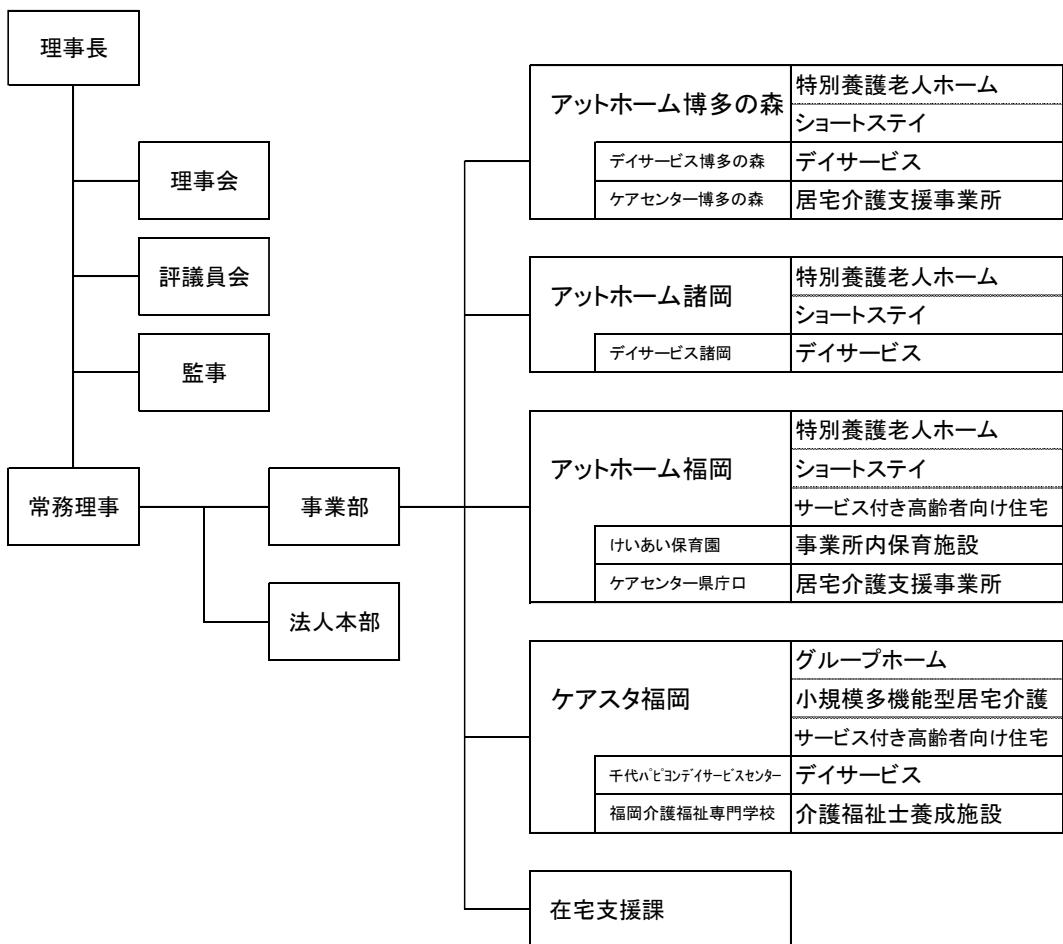
就職先の決定にかかるマッチング面接では、各法人の意見を取り入れ、面接に至るシステムを構築しました。今後は就職後のフォローアップを継続して行い、会員法人からの更なる信頼醸成と、奨学会加入に対する価値向上に努め、安定運営に繋げていきます。

【奨学会奨学金貸与額（一人当たり）】

入学準備金	150,000円
月額	35,000円
奨学金合計（2年間）	990,000円

III 組織図

令和4年3月31日現在



【サービス・定員数】

施設名	サービス・定員数 (○は定員なし)								
	特養	SS	DS	居宅支援	GH	小多機	サ高住	保育園	専門学校
アットホーム博多の森	99	27	18	○					
アットホーム諸岡	80	10	10						
アットホーム福岡	100	18		○			35	19	
ケアスタ福岡			45		18	29	11		80
定員合計	279	55	73		18	29	46	19	80

【職員数】

施設名	介護職		看護職		保育士		他の専門職		合計
	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	
アットホーム博多の森	52	3	7	2			12	5	81
アットホーム諸岡	44	3	5	1			10	5	68
アットホーム福岡	50	7	5	1	6		12	6	87
ケアスタ福岡	28	5	4				9	4	50
法人本部							5		5
合計	174	18	21	4	6	0	48	20	291

事業報告の附属明細書

令和3年度事業報告の内容を補足する重要な事項がないため、事業報告の附属明細書は作成していない。

社会福祉法人敬愛園
理事長 益田康弘